

# 令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

報告日 令和7年11月25日

P T A名		静岡県立静岡南部特別支援学校 P T A				
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input type="checkbox"/> 知的障害	<input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	11人				

## 1. 使用状況

寄贈物品名	体幹固定クッション
使用学年及び人数	通学生(小学生4人)、訪問生4人
使用頻度	毎日
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問教育、家庭で座位の練習の際に楽に姿勢がとれるように、腹側に置いてもたれるようにしている。訪問教育の児童生徒が学校に来校し、クッションやエアベッドで側臥位の姿勢をとる時に足に挟んで使用した。</li> <li>・小学部の体育の機械運動の種目としてハンモックを行った際に、首などを固定した。</li> </ul>
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座位ではクッションにもたれかかるようにして姿勢の保持をすることができた。側臥位や仰臥位の姿勢が安定してリラックスして学習に向かうことができた。</li> <li>・身体の一部を固定することで、気持ちも安定し、安全に活動することができた。</li> </ul>
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き姿勢の安定を図ることに使用したい。姿勢が安定することで、教材が見やすくなったり、手が使いやすくなったりする。</li> <li>・首のすわりが不安定な児童には、引き続き活用していきたい。</li> </ul>
その他希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長さがあり厚みが変わるので、必要に応じて形が変わってよい。</li> <li>・一般的な中身が綿のクッションにはない、身体へのフィット感が良い。安心して使用できている。</li> </ul>

## 2. 活用の様子



- スクーリングでの授業で、エアベッドで側臥位姿勢をとる際、足の上に挟んでいる。姿勢を保持し、安心してリラックスできている。



- スクーリングでの授業で、クッションに側臥位姿勢をとる際足の上に挟み、姿勢保持のために使用している。
- 少し不安定なクッションの上で児童生徒が不安そうにしていたが、クッションを使うことで姿勢の安定につながった。



- 体育の器械運動の種目としてハンモックと共に使用した。
- 首が安定し、体が包み込まれるような状態でゆったりと左右の揺れが体験でき、気持ちよさそうな表情が見られていた。